

解答例

チャレンジシート① 学ぶ

★ 「こんぎつね」の作者はだれでしょう。

新美 南吉 (にいみ なんきち)

★ 「こんぎつね」の作者が書いた他の作品を読んだことがありますか。ある人は、題名を書きましよう。

「手ぶくろを買いに」「おじいさんのランプ」など

※この作品をきっかけにして、新美南吉作品を読み広げてね。

解答例

チャレンジシート② きほん

1 教科書8～9ページの3行目を読んで答えましよう。

(1) いっしょのお話ですか。

小さなおしろがあつて、おこの様がおられたころ

(2) 「こんぎつね」はどんなきつねですか。

ひとりぼっちの小ぎつね

(3) 「こんは、どんないたずらをしていたでしょう。

○畑へ入っていもをほり散らす。

○菜種がらのほしてあるのへ火をつける。

○どんがらしをむしり取る。

2 教科書9ページの4行目～13ページの4行目を読んで答えましよう。

(1) 「のお話の二つめの大きな出来事が起ります。それは、どんな出来事ですか。次の にあて はまる言葉を書き、整理しましよう。

兵十がいなくなると、「こんは、ぴよいと草の中から飛び出して、

びくのそばにかけつけました。

ちよいと、

いたずら

がしたくなったのです。こんは、びくの中の魚をつかみ出して

は、はりきりあみのかかっている所より下手の川の中を目がけて、

ぼんぼん投げこみました。

いちばんしまいに、太いうなぎをつかみにかかりましたが、手ではつかめません。こんは、じ

れったくなくて、

頭をびくの中につっこんで、うなぎの頭を口にくわえました。

(2) 兵十は、いたずらをした「ん」とをきやう思っているのでしょうか。それが分かる兵十の言葉を書き出ましよう。

「	う	わ	あ	、	ぬ	す	っ	と	ぎ	つ	ね	め	」。
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

解答例

チャレンジシート③ ジャンプ

単元	年組番	4問
四年下 読んで考えたことを話し合おう 「いんぎつね」	氏名	

1 教科書 13 ページの 5 行目、16 ページの 10 行目を読んで答えましょう。

兵十のおつかあが死んだことを知ったごんは、あなの中で考えました。ごんは、自分がしたことをどのように思ったのでしょうか。それが分かる「ごんの言葉を書き出しましょう」。

ちよつ、

あ	ん	な	い	た	ず	ら	を	し	な	け	り	や	よ	か	っ	た
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2 教科書 16 ページの 11 行目、最後を読んで答えましょう。

(1) 明るる日もくりを持って行った「ごん」をどう思いますか。理由もつけて書きましょう。

(例)

・くりをもっていたごんは、やさしいと思う。それは、「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」とあるように、兵十も自分と同じようにひとりぼっちでさみしいと感じていると思ったからだ。

(2) 最後の場面を読んで、「ごん」と兵十が心の中で言った言葉を書き出さうかべて書きましょう。

(例)

ごん、おまいだったのか、いつも、くりをくれたのは。知らなかったよ。ごん。
 ああ、おらは、取り返しをつかないことをしてしまった。ごめんよ。

真実を知った兵十のおどろき、悲しみや後悔などの気持ちが書けるとよいでしょう。

(例)

ああ、やっと兵十に分かってもらえたよ。安心したよ。
 兵十と友だちになりたかったなあ。

自分の気持ちに気づいてもらったごんの安心感と無念さが書けるとよいでしょう。

★ 「手びんを買いに」も新美南吉さんが書いたきつねが登場する作品です。「いんぎつね」と読んでみるのもおすすめです。